

稚内市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

自家用車の普及や少子化による通学者の減少等により、バス利用者も年々減少しており、郊外路線に対する市の費用負担も増加傾向にある。

このため、地域公共交通総合連携計画を策定し、サービス維持を図りつつ路線の再編や統合も含めた、効率的で持続可能な公共交通の確立を目指し、関係機関における協議を経て、バス路線の再編・経路変更が進められてきた。

この再編・経路変更に伴い、自宅前までの送迎が可能な予約型の乗合タクシーを導入し、本格運行後2年目を迎え、更なる地域住民への定着と利用促進を図ってきたところである。

稚内市生活交通ネットワーク計画の目標・効果

【目標(利用者の増加を目指す)】

■天北地区、恵北・増幌地区

・H23年10月からH24年3月の利用者数平均493人/月を上回ることを目標とした。

■更喜苦内地区

・H23年10月からH24年3月の利用者数平均113人/月を上回ることを目標とした。

【効果】

安定した利用者の確保が運行収入の安定化につながり、自治体負担に一定の目途をつけることで、行政区域全体の公共交通の維持確保に向けた取り組みの実施が可能となる。

平成25年度事業概要

■天北地区、恵北・増幌地区

・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナル

■更喜苦内地区

・更喜苦内地区、上勇知地区各戸から潮見5丁目ターミナル

地域公共交通の現況

■稚内空港(羽田便・新千歳便)

■JR宗谷本線(稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅)

■宗谷バス(株)(市内路線・天北宗谷岬線・都市間バス等)

■ハートランドフェリー(株)(利尻・礼文航路は通年、サハリン航路は季節運行)

■タクシー事業者3社(稚内タクシー・稚内日の丸交通・北都ハイヤー)

■スクールバス(宗谷・抜海・下勇知・東浦・増幌・天北)

稚内市地域公共交通活性化協議会開催状況

■第1回協議会 H24年6月25日開催

・H24年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請について

・H25年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

他

■第2回協議会 H25年3月25日開催

・H25年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請について

・乗合タクシーに係る経過報告、事業評価について

他

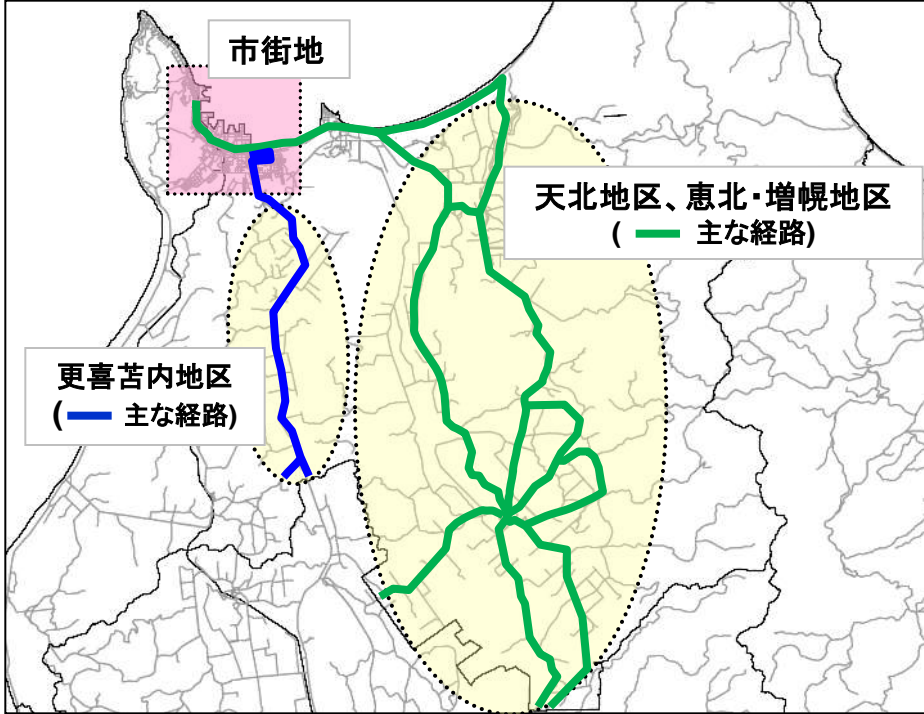
平成25年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

【プロセス】
 ・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年9月まで実証運行を実施し、同年10月から本格実施となり現在2年目を迎えている。

【創意工夫】
 ・地域懇談会で出された意見を反映し、11月には市街地停留所を増設するなど利便性の向上に努めてきた。

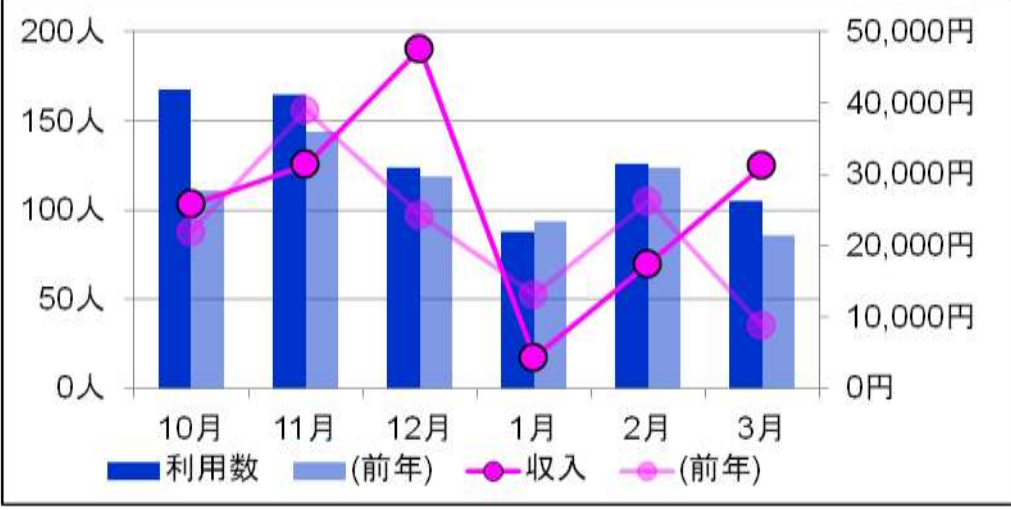
2) 運行ルート



3) 天北地区、恵北・増幌地区の利用状況の推移



4) 更喜苦内地区の利用状況の推移



5) 事業実施の適切性

■天北地区、恵北・増幌地区

- ・大雪や暴風雪等による運休以外は適切に実施された。

■更喜苦内地区

- ・大雪や暴風雪等による運休以外は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

■天北地区、恵北・増幌地区

- ・目標の平均493人／月に対して、これまでのところ平均570人／月となり目標値を上回る予定である。

- ・地域懇談会で出された意見を反映し、11月には市街地停留所を増設して利便性向上に努めている。

- ・高齢者の利用割合が半数近くに及んでおり、外出機会創出にも効果があると考えられる。

■更喜苦内地区

- ・目標の平均113人／月に対して、これまでのところ平均129人／月となり、目標値を上回る予定である。

- ・通院や通学への交通手段の確保は、実現できたものと判断している。

7) 事業の今後の改善点

■天北地区、恵北・増幌地区

- ・今後も要望に応じて懇談会を開催し、利用者の意見に耳を傾けていく必要がある。

■更喜苦内地区

- ・当該地区では通学生の利用が主であるが、その他の利用についても僅かだが新規の利用者も見え始めているので、更なる利用拡大に努めていきたい。

- ・当地区の児童生徒が増加傾向にあることから、スクールバス等と関連も含め関係者と協議していく必要がある。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。
- ・事業実施に当たって自立性・持続性を考慮し、地域のニーズを踏まえた取り組みが行われた結果、目標を大きく上回ったと評価する。
- ・現状の実績を踏まえた目標値の設定と利用実態に即した見直し等都度検証するよう期待する。